

「経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に配慮した国家試験のあり方に関する検討会」ヒアリングについて

社団法人日本介護福祉士会
会 長 石橋 真二

○ EPA介護福祉士候補者に配慮した国家試験のあり方について

1 試験問題をさらにわかりやすい日本語に改善するための提案

（1）現在の難しい用語に対する配慮策についての評価

専門用語等の難しい漢字に、ふりがなと、疾病名に英語併記するなどの改善点に対しては、日本人にとってもわかりやすく大変評価できる。現に全体の合格率が64%、EPA候補者が37.9%と高い合格率となっており、今後もこのような方法を継続していくことは必要。

（2）具体的な提案

特になし。

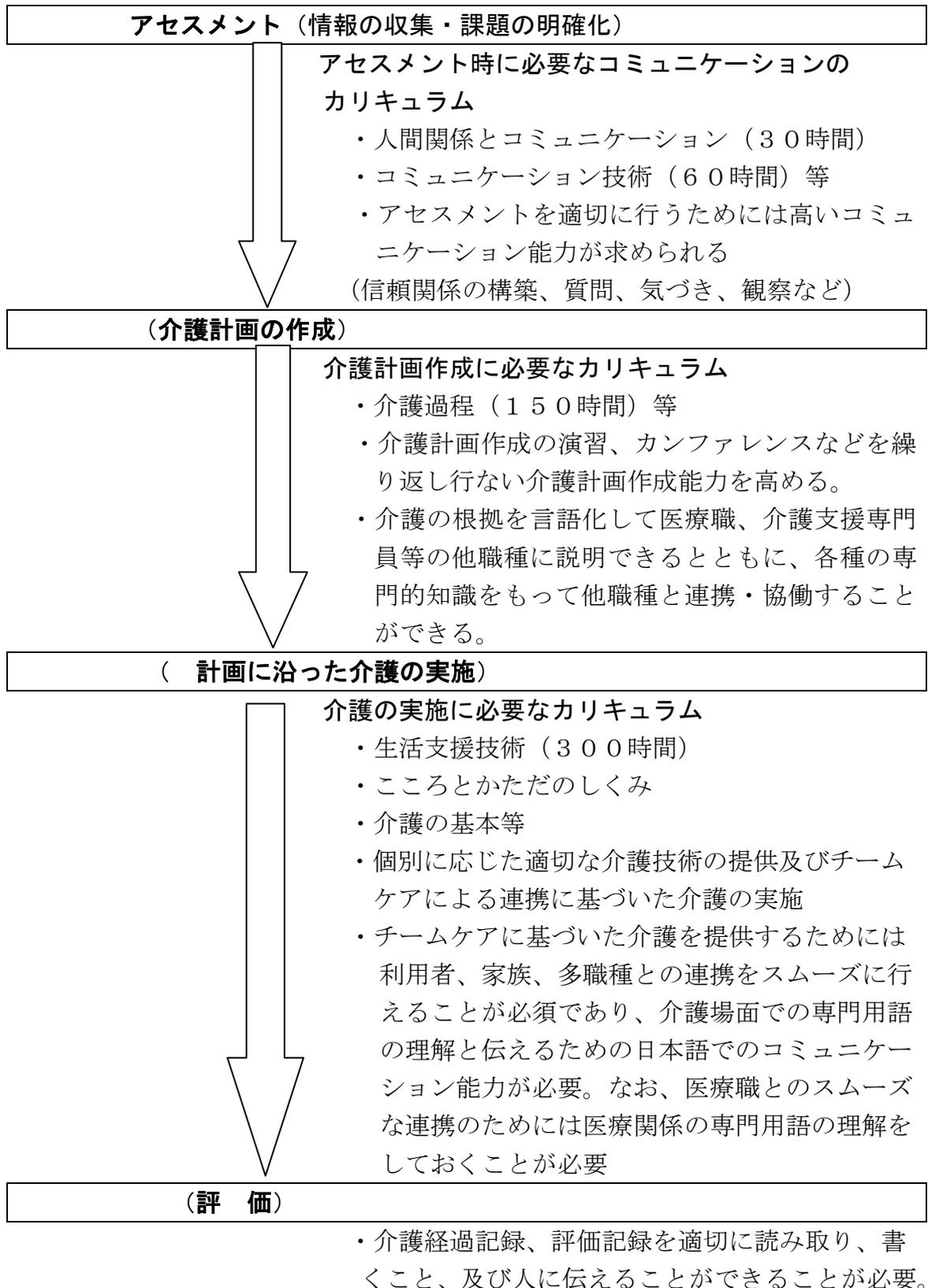
2 母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否に関する意見

・介護福祉士の定義規定

この法律において「介護福祉士」とは、第四十二条第一項の登録を受け、介護福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもつて、身体上又は精神上的の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護（喀痰吸引その他その者が日常生活を営むに必要な行為であつて、医師の指示の下に行なわれるものを含む。）を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うこと（以下「介護等」という。）を業とする者をいう。（下線部は平成27年4月施行）

* 介護福祉士の定義規定から、介護福祉士は心身の状況に応じた介護を行なうことができなければならない、心身の状況に応じた介護を行うことは介護過程の展開に沿った介護ができることが必要である。

介護過程の展開



・個別に応じた介護を展開するためには、このように介護過程の展開のプロセスが適切に行なえることが必要であり、そのためには介護・医療などの介護福祉士として理解しておくべき専門用語なども含め十分な日本語によるコミュニケーション能力を備えておくことが必要である。

なお、重度の介護ニーズを要する方が増え、介護の仕事は人の生活だけではなく生命にも大きく関わる仕事となっている。最近では、喀痰の吸引など一部医療行為も行うことになったことから、さらに安全性の確保が重要であり、医師や看護師など医療関係者との間で、専門用語を的確に使い、日本語でのコミュニケーションをとる必要がある。

介護福祉士が備えるべきコミュニケーション能力は、日本語による介護福祉士国家試験で出題されたコミュニケーションを伴う介護場面や事例の中で専門的な意味を読み取り判断することで確認できることから、コミュニケーション能力試験と専門的知識を図る試験を切り分けて実施することは、介護福祉士としての適正が正しく評価されない恐れがある。

日本と外国の制度の違い、日本における介護サービスは外国に無いものもあり、母国語に翻訳することが困難な題材もあり、本来の試験と異なる問題になり、それは国家試験としては問題がある。以上のことなどから介護福祉士国家試験については母国語・英語とコミュニケーション能力試験の併用は不適切と思われる。

3 効果的な学習支援に関する意見

EPA 候補者の合格率を高めるためには、3年間の介護業務のなかで、受入れ施設側が日本語学習の時間、介護福祉士の受験勉強の時間を十分にとるとともに、現場での経験知を高めることが有効と思われる。

施設での研修指導者の役割も大切であり、研修指導者の指導力を高めることや研修の一部を行政等が担うなどの支援を行なうことが必要。

日本語能力を高めるための e ラーニング学習の仕組みの環境整備、国家試験対策・模擬試験による実力評価の分析、学習支援のアドバイスの充実はもとより、本会でも受験対策講座や模擬試験を行なっており、候補者に対しても各支部、地域ごとでの受験対策などの支援を行ないたい。

4 候補者が、資格取得後、就労を継続していく上での介護に関する知識・技術に関する考え方

・現場経験3年で国家試験に合格して資格を取った方などについては、養成校の卒業生と比較し、カリキュラムの不足を補う学習が必要。なお、本会の介護福祉士初任者研修等を受講することも有効。介護福祉士として、教育の不足を補うことや日本での介護の仕事、生活に慣れるためにさらなる日本語学習も必要。

・介護福祉士の資格取得は専門職としてのスタートである。介護の世界も日進月歩で、制度の変更や新たな介護サービスの創設などがあり、また、新たな介護の方法などについても学ぶことが必要であることから、常に新しい、知識・技術の取得と自己研鑽が必要であり、今後は日本の介護福祉士と同様に介護福祉士としての資質向上及びキャリアパスを目指していただく。

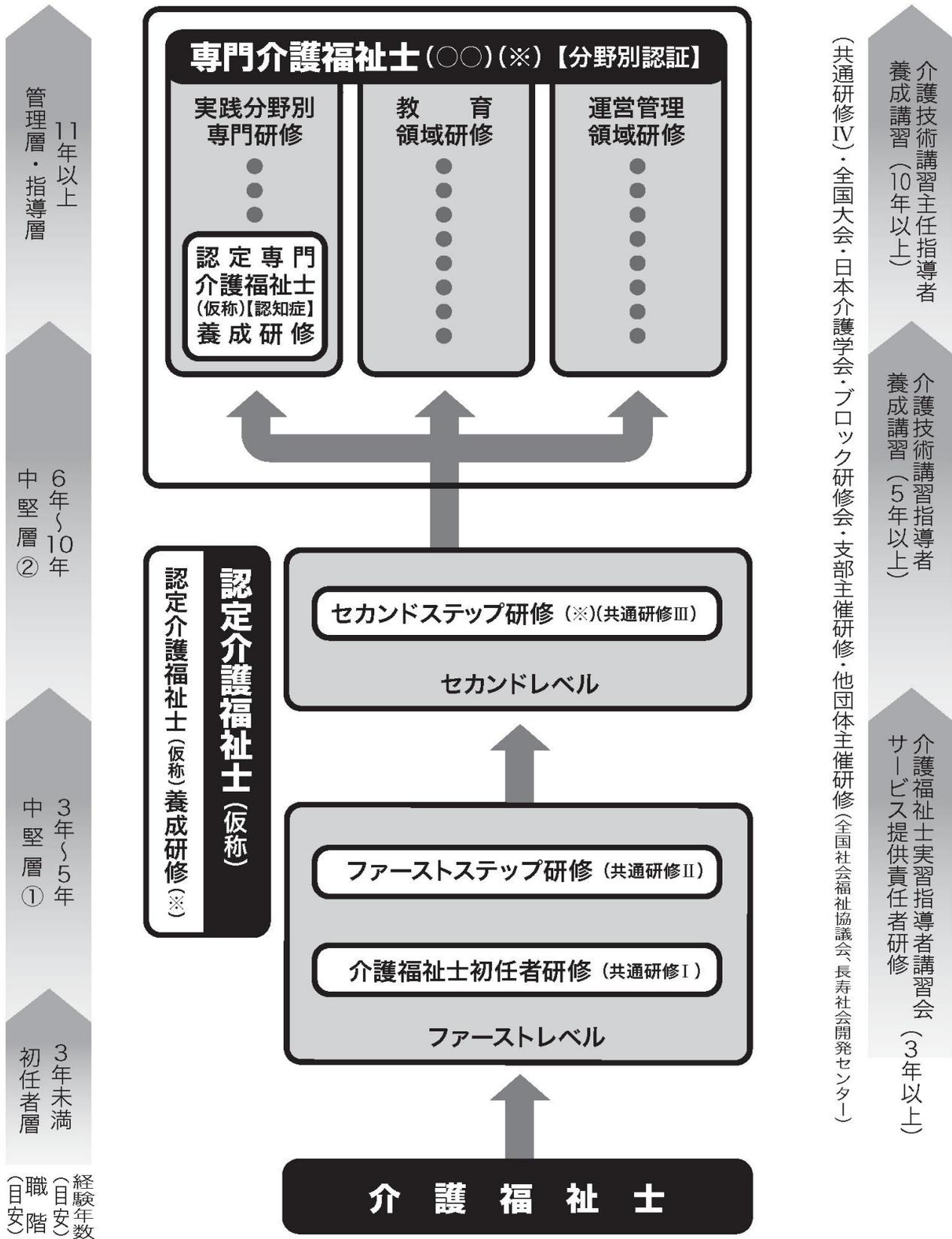
・そのためには、日本介護福祉士会に入会していただき、各支部で生涯研修に沿った研修を受ける。(図表参考) 支部の研修も参加していただく。

(参考資料)

- ・日本介護福祉士会生涯研修体系図
- ・リーフレット
- ・各支部の連絡先
- ・初任者研修カリキュラム

社団法人日本介護福祉士会 生涯研修制度図

(平成 24 年 4 月) (※) は現在検討中であることを示します。



日本介護福祉士会の会員とは

介護福祉士資格を取得して本会の目的に賛同する方なら、どなたでも入会できます。日本介護福祉士会に入会すると、同時に勤務地または居住地の都道府県介護福祉士会の会員になります。入会に際しては、入会金と初年度分の年会費をお支払いいただきます。会員は、各種スキルアップ研修会、講習会などの介護福祉士会主催の行事に参加できます。参加費は会員価格を定めています。年6回の「日本介護福祉士会ニュース」をはじめ、いろいろな案内情報が送られます。会員専用の福利厚生制度「安心三重奏」にも加入できます。

入会の手続き

日本介護福祉士会のホームページまたは、電話・FAX等で資料を請求してください。勤務地または居住地の各都道府県介護福祉士会でも受け付けています。

各都道府県支部一覧

北海道・東北ブロック

- 北海道介護福祉士会
〒001-0010 札幌市北区北十条西4-1 SCビル2F
TEL.011-707-4700 FAX.011-717-6887
E-mail: hokkaido-kaigo@mopera.net
青森県介護福祉士会
〒030-0822 青森市中央3-20-30県民福祉プラザ5F
TEL.017-731-2006 FAX.017-731-2007
E-mail: ao2cw103ass@image.ocn.ne.jp
岩手県介護福祉士会
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手手内
社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 福祉人材研修課
TEL.019-637-4466 FAX.019-637-4255
宮城県介護福祉士会
〒981-8523 仙台市青葉区国見1-19-1
東北福祉大学ステーションキャンパス3F
TEL.022-993-8557 FAX.022-993-8558
E-mail: m.hokukyou@bz01.plala.or.jp
秋田県介護福祉士会
〒019-1541 仙北郡美郷町土崎字上野乙102-30山形朋寿方
TEL.090-2027-0294 FAX.0187-85-4060
E-mail: 0hh2p.027865-3s@ezweb.ne.jp
山形県介護福祉士会
〒990-0021 山形市小白川町2-3-31
山形県総合社会福祉センター内
TEL.023-615-6555 FAX.023-615-6521
E-mail: yaccw@smail.plala.or.jp
福島県介護福祉士会
〒963-1303 郡山市熱海町玉川字横川56
TEL.024-984-0210 FAX.024-984-0210

関東・甲信越ブロック

- 茨城県介護福祉士会
〒312-0022 ひたちなか市金上562-1ひたちなか市社会福祉協議会内
TEL.029-354-5221 FAX.029-354-1315
E-mail: hnsha_k_002@yahoo.co.jp
栃木県介護福祉士会
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内
とちぎソーシャルワーク共同事務所
TEL.028-600-1725 FAX.028-600-1730
E-mail: tacs@minos.ocn.ne.jp
群馬県介護福祉士会
〒371-8525 前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉協議会利用支援グループ内
TEL.027-255-6226 FAX.027-255-6173
E-mail: nenoi@g-shakyo.or.jp
埼玉県介護福祉士会
〒330-0056 さいたま市浦和区東仲町4-16ベルソネK・M 1-D号
TEL.048-871-2504 FAX.048-871-2504
千葉県介護福祉士会
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター3F
TEL.043-248-1451 FAX.043-248-1515
E-mail: kai5niji@poem.ocn.ne.jp
東京都介護福祉士会
〒135-0003 江東区猿江1-3-7パーク・ノヴァ猿江恩賜公園102号
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650
E-mail: to.kaigo@nifty.com
神奈川県介護福祉士会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL.045-311-8776 FAX.045-317-5930
E-mail: info@kanagawa-accw.org
社団法人新潟県介護福祉士会
〒950-0994 新潟市中央区上戸2-2-2 ユニゾンプラザ3F
TEL.025-281-5531 FAX.025-281-7710
E-mail: kaigo@sage.ocn.ne.jp
山梨県介護福祉士会
〒400-0203 南アルプス市徳永175-41
TEL.055-285-6488 FAX.055-285-6488

- 社団法人長野県介護福祉士会
〒380-0836 長野市南長野町1001-3 陽光丸ビル4F
TEL.026-223-6670 FAX.026-223-6679
E-mail: n.kaigo@muse.ocn.ne.jp

東海・北陸ブロック

- 富山県介護福祉士会
〒939-8084 富山市西中野1-1-18 オフィス西中野1F
TEL.076-422-2442 FAX.076-422-0440
E-mail: toyama-kaigo@topaz.ocn.ne.jp
石川県介護福祉士会
〒920-0964 金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館内
TEL.076-234-1151 FAX.0762-34-1153
E-mail: ishikawa-jinzai@sk-shakyo.or.jp
福井県介護福祉士会
〒910-2178 福井市梅野町10-17 金牧裕美方
TEL.0776-24-0086 FAX.0776-41-8540
E-mail: fukui-kaigo@apost.plala.or.jp
岐阜県介護福祉士会
〒501-6063 羽島郡笠松町長池396-2 奥村
TEL.090-7695-8903 FAX.058-387-6347
E-mail: n-oku@ccn3.aitai.ne.jp
静岡県介護福祉士会
〒420-0024 静岡市葵区中町24-2 若杉ビル2F
TEL.054-253-0818 FAX.054-253-0829
E-mail: shizukai@cy.tnc.ne.jp
愛知県介護福祉士会
〒492-8137 福沢市国府宮3-4-11第二児玉荘101号
TEL.0587-32-0554 FAX.0587-32-0536
E-mail: aichikaigo@pure.ocn.ne.jp
三重県介護福祉士会
〒514-8552 津市桜橋2-131 三重県社協サービス支援部内
TEL.059-271-9918 FAX.059-227-5548

近畿ブロック

- 滋賀県介護福祉士会
〒525-0014 草津市駒井沢町302
TEL.077-568-1758 FAX.077-568-3178
E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp
京都府介護福祉士会
〒602-8143 京都市上区猪熊通丸太町下ル仲の町519
京都社会福祉会館2F
TEL.075-801-8060 FAX.075-801-8083
E-mail: kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp
社団法人大阪介護福祉士会
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15大阪社会福祉会館内
TEL.06-6766-3633 FAX.06-6766-3632
E-mail: info@kaigo-osaka.jp
兵庫県介護福祉士会
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-18 兵庫県福祉センター1F
TEL.078-232-4590 FAX.078-232-4590
E-mail: hyoukai@sany.net.jp
奈良県介護福祉士会
〒634-0063 橿原市久米町569 ヒロタウエストゲート405号
TEL.0744-35-5286 FAX.0744-35-5286
E-mail: nara-kaigo@gaia.eonet.ne.jp
和歌山県介護福祉士会
〒646-0012 田辺市神島台6-1 真寿苑内
TEL.0739-22-3639 FAX.0739-26-3422
E-mail: w.kaigofukusikai@image.ocn.ne.jp

中国・四国ブロック

- 鳥取県介護福祉士会
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 鳥取県立福祉人材研修センター内
TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
E-mail: kishimotoe@tottori-wel.or.jp

- 島根県介護福祉士会
〒693-0031 出雲市古志町906 有限会社介護の相談 森山内
TEL.0853-24-8883 FAX.0853-24-8884
E-mail: shimanekaigo@yahoo.co.jp
社団法人岡山県介護福祉士会
〒700-0813 岡山市石岡町2-1 岡山県総合福祉会館5F
TEL.086-222-3125 FAX.086-222-6780
E-mail: okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp
社団法人広島県介護福祉士会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内
TEL.082-254-3016 FAX.082-254-3017
E-mail: hiroshimakaigo@zb.wakwak.com
山口県介護福祉士会
〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉協議会内
TEL.083-924-2783 FAX.083-922-6652
E-mail: kaisikai@yg-you-i-net.or.jp
徳島県介護福祉士会
〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満369-1
徳島健康福祉専門学校内
TEL.086-642-9666 FAX.086-42-9227
E-mail: school@kensyokai.or.jp
香川県介護福祉士会
〒762-0044 坂出市本町3-5-26 トマトマンション203号
TEL.0877-46-0143 FAX.0877-46-0133
E-mail: kagawa-kaigo@shirt.ocn.ne.jp
愛媛県介護福祉士会
〒790-8553 松山市持田町3-8-15愛媛県総合社会福祉会館2F
愛媛県社協 福祉振興班内
TEL.089-921-8566 FAX.089-921-3398
高知県介護福祉士会
〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 高知県社会福祉協議会
TEL.088-844-3511 FAX.088-844-3852

九州・沖縄ブロック

- 社団法人福岡県介護福祉士会
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街7-1 シック博多駅前ビル5F
TEL.092-474-7015 FAX.092-436-5234
E-mail: fkaigo@elf.coara.or.jp
佐賀県介護福祉士会
〒846-0002 多久市北多久町大字小侍869
TEL.0952-75-3292 FAX.0952-75-3293
E-mail: sagakaigo@hokusi@yahoo.co.jp
長崎県介護福祉士会
〒852-8555 長崎市茂里町3-24 長崎県総合福祉センター県棟4F
TEL.095-842-1237 FAX.095-842-1310
E-mail: nagasakikaigofukusi@lagoon.ocn.ne.jp
熊本県介護福祉士会
〒862-0950 熊本市水前寺6-41-5 千代田レジデンス県庁東210号
TEL.096-384-7125 FAX.096-297-8115
E-mail: info@kumamoto-kaigo.jp
大分県介護福祉士会
〒870-0921 大分市萩原4-8-58 大分県整骨会館3F
TEL.097-551-6555 FAX.097-551-6555
E-mail: oita-kaigofukushishi@almond.ocn.ne.jp
宮崎県介護福祉士会
〒880-0014 宮崎市鶴島2-9-6 NPOハウス3F 304号
TEL.0985-22-3710 FAX.0985-22-3711
E-mail: kenkaifuku1993@rhythm.ocn.ne.jp
鹿児島県介護福祉士会
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター4F
TEL.099-206-3050 FAX.099-206-3050
E-mail: jaccw46@po5.synapse.ne.jp
社団法人沖縄県介護福祉士会
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター西棟4F
TEL.098-887-3344 FAX.098-887-3391
E-mail: okinawakaigo@woody.ocn.ne.jp

仲間と一緒に自分をみがう



社団法人 日本介護福祉士会
The Japan Association of Certified Care Workers

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1丁目22番13号 西勘虎ノ門ビル3階
TEL.03-3507-0784 FAX.03-3507-8810
webmaster@jaccw.or.jp
http://www.jaccw.or.jp



メールでのお問合せはこちら



社団法人 日本介護福祉士会
The Japan Association of Certified Care Workers

介護福祉のプロ集団をめざします

介護福祉士の職業倫理と資質の向上を



日本介護福祉士会の歴史

1987(昭和62)年、介護福祉士制度が創設されました。その2年後には2631名の介護福祉士が誕生しました。全国各地で仲間同士がネットワークを作り始め、都道府県単位の介護福祉士会が組織され、1994(平成6)年2月に日本介護福祉士会が結成されました。本会の目的は、「介護福祉士の職業倫理及び専門性の確立、介護福祉に関する専門的教育及び研究の推進並びに介護に関する知識の普及を図り、介護福祉士の資質及び社会的地位の向上に資するとともに、国民の福祉の推進に寄与すること」です。日本介護福祉士会は多くの事業に取り組み、2000(平成12)年には社団法人となり、現在に至っています。

生涯研修制度

日本介護福祉士会では、介護福祉士資格取得後のキャリアアップを目的として、生涯研修制度を構築しています。全国大会、ブロック研修会、リーダー研修会をはじめとする日本介護福祉士会主催研修や、初任者研修会等の各都道府県支部主催研修など、様々な研修を行っています。これらの研修へ参加・修了することにより、会員の皆様にはポイントが加算されていきます。会員の皆様には生涯研修手帳を配布しており、個人の研修履歴が記録されるようになっています。各種研修会では、多くの場合会員の皆様には有利な受講料の設定をしています。通常知り合う機会が少ない他地域の介護福祉士との情報交換により交流を深める意味からも、研修会への参加をお待ちしております。

日本介護学会

介護の専門性を確立する学術活動の一環として、実践に根ざした介護福祉学の構築を目的に、2003(平成15)年に日本介護学会を設立しました。毎年1回、研究発表の場となる学術集会を開催しています。日本介護福祉士会の会員であればどなたでも参加できます。また、介護の学術専門誌『介護福祉士』も発行しています。

広報

『日本介護福祉士会ニュース』を隔月発行しています。介護福祉士に必要な福祉施策の動向や日本介護福祉士会の活動及び研修会情報を伝えています。ニュースは全会員へ配布いたします。会長・副会長の公的会議への参加状況や各種検討委員会の報告なども行っております。日本介護福祉士会への資料を請求することや、各研修会の参加申込書を入力することもできます。

国家試験対策

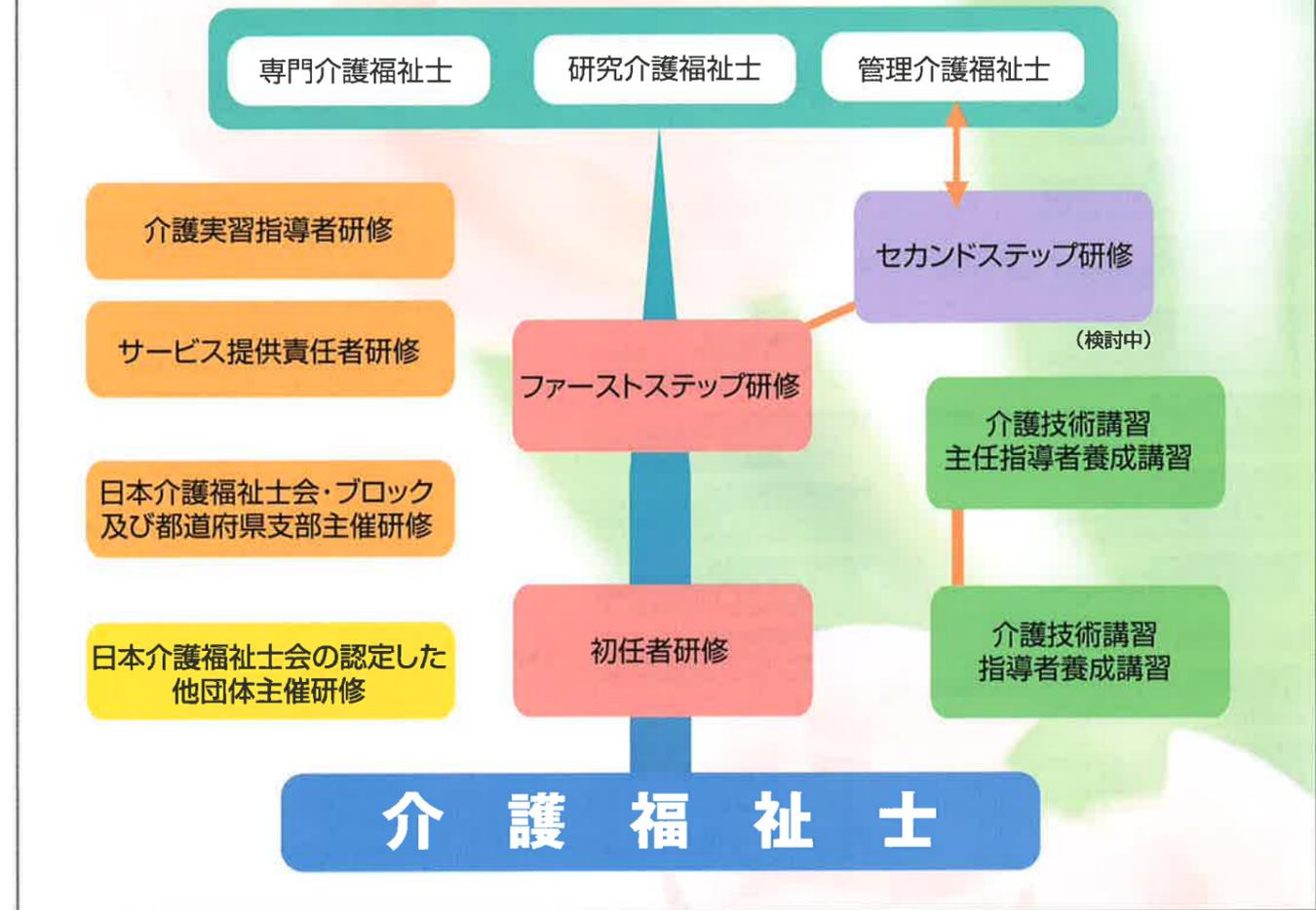
国家試験の受験対策として模擬試験等を行い、介護福祉士国家資格を取得する方を支援しています。筆記試験だけでなく、実技試験対策も各地で開講しています。

公的機関への参加

国の社会保障審議会分科会をはじめ、地方自治体や第三者機関などに、介護福祉士の立場からの意見・提言を行っています。現場の事情を反映させることなど、介護福祉士の社会的地位の向上に向けた活動の一環です。



日本介護福祉士会生涯研修制度



明日の介護を支える介護福祉士に

介護福祉士が誕生して20年が経ち、より質の高い介護福祉士の養成を行うために介護福祉士制度の見直しが行われました。今回の法律改正では、新たに「資質向上の責務」が明記され、専門職として自分を磨き続け、サービスの質を高めることが明確にされています。今後さらに、私たち介護福祉士は社会の多様化したニーズに応えるためにも、専門職としての高い倫理をもち、資質向上に努めなくてはなりません。日本介護福祉士会では、一人ひとりの介護福祉士が自己研鑽出来るような様々な研修を行い、キャリアアップの仕組みに応じた生涯研修体系の確立にも取り組んでいるところです。また、介護福祉士の社会的評価の向上を目指して様々な取組みも行っています。日本介護福祉士会は皆さんの入会を心から歓迎しています。介護福祉士の専門性の確立、社会的評価の確立に向けて、ともに力を併せて日本の介護の未来を創造していきましょう。



社団法人 日本介護福祉士会
会長 石橋 真二

初任者研修会 カリキュラム

項目	研修時間
1 介護福祉士の専門性と職業倫理	2
2 介護福祉士の法律と関連する制度政策	
1 介護福祉士の資格制度成立まで	1
2 社団法人日本介護福祉士会の設立に向けて、取り組みと職能団体の役割	
3 法律上定められた介護福祉士の位置づけと義務について	
4 介護福祉士と社会保障の関連制度	
3 介護福祉士の仕事とコミュニケーション	1.5
コミュニケーション技術	
4 介護福祉士の基本的態度	1
5 介護福祉士のための介護技術	
1 よりよい介護を目指した介護技術	1.5
2 移動の介助	2
3 食事の介助	1
4 排泄の介助	1
5 緊急時の対応	0.5
6 介護過程の展開	5 (うち演習3)
7 記録と報告	1.5(演習)
8 介護福祉士のための医学知識	
1 高齢者の疾患の概要とその特徴	1.5
2 認知症について	
3 薬の基礎知識	
4 廃用症候群	
9 福祉用具の意義と活用	1.5(実技)
合計	21

※原則として標記の時間で行うものとするが、都道府県支部において、時間数の増による独自のプログラムを作成することは可能とする。